

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 4月 1日

事業所名 児童デイサービス ほっこり

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			集中力を養うための個室を利用しています。	児童が一部屋に増えると密にならないように別室に誘導しています。
	2	職員の配置数は適切である	1	4		見守りの人員が少ない時間、一定の距離を保ちながら一か所で活動しています。	送迎時間が重複すると見守り人員が足りないと感じる事があり、送迎時の人員配置を工夫します。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	2			段差があり手すりが必要かと感じる時があります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	1			PDCAサイクルにパート職員との共有をもっと密にします。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	1			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			4		第三者による外部評価制度を導入出来るか、本社と検討いたします。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	2		経験年数に合わせた勉強会があります。	定期的に必要テーマでの研修があります。就業時間外に行うことが多く、参加できない人もあり、参加が増える工夫が必要ではないかと思います。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			相談支援員との連携ができています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	2			中学生以上の児童の為の支援ツールを上手く使えるように工夫致します。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			チームで当日の広さを生かした活動をしています。	全体に利用児童の高年齢化で、次期入所する児童との年齢差が予想されプログラムを工夫致します。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			マンネリ化しないよう気を付けています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4				外出ができない状況を鑑みた活動を増やします。1~2日の休みに対しスポーツ大会など行えるよう努力します。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			朝礼を活用しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			終礼を活用しています。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4				記録が、児童の毎日の気づきになり見直しのきっかけになるよう全職員で記録しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	1		6か月毎に見直しを行っています。	

19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	4				
----	---------------------------------	---	--	--	--	--

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1		管理者が主に参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4			支援会議の際必要な場合は学校も参加をお願いします。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	2			医療的ケアが必要な児童を受け入れる場合は、主治医だけでなく協力医の連携が出来るよう調整しています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4			必要に応じて情報共有しています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	1		進学、就労に伴い情報提供をしています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2	1		困ったときには行政をはじめ各関係機関と連携して助言をいただけるようにしています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4				コロナ感染者が増えている間は交流できませんでしたが、これから順次再開をします。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	3			参加した職員から全職員へ、協議会の内容を共有できるよう工夫致します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4				日々の送迎時や、LINEの活用で状況をお伝えしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	2			職員全員がペアレント・トレーニングを理解できるよう勉強会を実施したいと思います。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		2	2		保護者同士の交流会は、コロナ禍で実施出来ていません。次年度実施できるよう計画致します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	2			LINEで、イベント時の児童の様子を発信していますが、より充実した内容をお届けできるよう工夫いたします。
	35	個人情報に十分注意している	4				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2	1		コロナ禍で招待できない状況が続いていますが、可能になれば地域交流を行いたいと思います。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	1		避難訓練のみならず、災害訓練も取り入れます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			年2回虐待防止研修を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1		身体拘束に関して運営規程や重要事項説明書に記載しています。契約時に利用者様と読み合わせしていますが知らない職員もいるので周知出来るよう努めます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			ヒヤリハットを日頃から意識して重大事故にならないように情報共有しています。